

ISPU NEWS

ISHIKAWA PREFECTURAL
UNIVERSITY NEWS

27
2018 WINTER



フットサルサークル

左から 生産科学科4年
大橋 勇敢
生産科学科4年
平松 阿文
生産科学科4年
田頭 立規
環境科学科4年
加藤 純也



★ フットサルに真面目に、楽しく、取り組んでます！

週一回、大学の体育館で練習をしています。主に試合形式で練習を行い、フットサルの小さな大会にも出場しています。また、毎年「全国大学同好会サッカー選手権」にも出場しており、昨年は北信越予選で準優勝という成績を収め、全国大会にまで進むことができました。部員の中にはサッカー未経験者もいますが、楽しんでプレーをしています。

チームワークの良さも全国レベル！

活動日：毎週木曜日

部員数：40名

活動場所：大学の体育館



トビタッた県立大生たち



ハピニング続きの留学。
それでも行って良かったです!

生産学科4年 室田 明星さん
留学先 オーストラリア（南昆士兰州大学）
期間 約9カ月間

留学テーマ 石川県の農業生産性向上を実現するための留学計画
～気候に負けない石川県の農業づくり～

留学して実感したのは、「日本って住みやすい！」ということ。ご飯がおいしく、キレイ好きな人が多い日本は最高の国です。私の留学生活は、心配していたことは杞憂に終わり、むしろ想定外のハピニングがありすぎて途中はすごく辛かったです。でも、貴重な経験もできたので、挑戦してみて良かったと思っています！



私の留学を支えてくれた
みんなに感謝しています！

環境科学科4年 大西 泰歩さん
留学先 アメリカ合衆国（ネバダ州野生生物局）
期間 約2カ月間

留学テーマ 石川県を野生動物の保護・管理で
ハイレベルな地域にするための留学計画

留学は、選ばれた人やお金たくさん準備できる人しか行けないと思っていましたが、平凡な私でも行けるものなのかなと思いました。留学を終えた今もアメリカで受け入れてくれたホストファミリーをはじめ、留学を認めてくれた両親、渡航先を探してくださいました先生方、応援してくれた友達への感謝の気持ちでいっぱいです。



Close Up オープンキャンパス 2018.8.4(土)実施

今年のオープンキャンパスは過去最大となる403名の参加がありました。毎年、好評のミニ実験や附属施設見学ツアーなど、暑い中でしたが参加者は真剣な様子で参加していました。今年は初めて、サークルによる発表を行うなどキャンパスライフを体験できるよい機会となつたようです。



What's
"トビタテ!留学JAPAN"?
日本の若者が海外留学に踏み出す
気運を醸成することを目的として、
官民協働のもと取り組んでいる
留学促進キャンペーンです。

TAKE
OFF!

国立大学の
卒業証書授与は
王族の人が行う
【タイ】

一般道で当たり前に
100キロ超えのスピードで
走るタクシー
【韓国】

どこかのトイレも
シナモン臭い
【アメリカ】

赤信号であっても
通行者がいなければ
右折車は進んでOK
【カナダ】

カンガルーが
道路を普通に走る
【オーストラリア】

昼ごはんも夜ご飯も
研究室のみんなで
外食
【韓国】

留学で多くの人と出会い、
気持ちが前向きになりました！

自然人間共生科学専攻1年 荒川 裕亮さん
留学先 アメリカ合衆国（マサチューセッツ工科大学）
期間 5カ月間
留学テーマ 希少生物ヤツメウナギの保全策と文化を学ぶ留学計画
～ヤツメウナギがなく能登半島とワシントン州～

留学は、自分の想像を超える経験ができる。そして、留学後はそこで得た経験やつながりを生かして活動できるということです。留学中は米国の水産試験場で、多くの経験を積むことができました。留学後も米国での研究発表や留学で出会った研究者と話し合う機会が増えました。今後も自分の目標達成のために、留学で得た経験やつながりを生かして活動していきたいと思っています。

留学で得た経験やつながりを
今後の活動に生かしていきます！

食品科学科3年 金 顯さん
留学先 カナダ（セントマリーズ大学）
期間 1年間
留学テーマ 石川の屋上緑化を推進するための
留学計画

留学を終えて一番伝えたいことは、失敗を恐れないことと感謝の気持ちを忘れないことです。留学前はサークルにも所属していない平凡な大学生でしたが、留学をきっかけにたくさんの方と出会い、周囲の人にお世話になるうちにポジティブになりました。世間体や否定的な意見を気にせず、自分の気持ちに素直になってほしいです！



人の助けを素直に受けて
信頼関係を築いていこう！

食品科学専攻2年 奥田 みづほさん
留学先 大韓民国（中央大学）
期間 2カ月間
留学テーマ 石川の食品がもつ機能性を通して石川県を
発信・発展できる人になるための留学計画
～石川の知名度を上げるための留学計画～

少しでも留学に興味があるなら、とりあえず挑戦してほしいです。準備も留学中も自分で頑張ってみるのも大切ですが、少し人に頼ったり話を聞いたりするだけでも自分の考え方や出来ることが変わってくると思います。他の留学より細かい部分はあるかもしれません、私は自分の好きなことが自由にたくさんできて楽しかったです！



留学では周りの人の助けを遠慮なく受けることが大切だと思いました。助けてもらった時の感謝の気持ちも大切ですが、1人で解決しようと過ぎない方が信頼関係を築きやすくなると思います。なにより、実際にやってみないと体験できないことばかりなので、少しでも留学に興味があるのであれば、チャレンジしてみることだと思います。



一步踏み出す勇気を
もって飛び立とう！

平成28年度 環境科学専攻 修了生 青山 真也さん
留学先 カナダ（セントマリーズ大学）
期間 約3カ月
就職先 三谷産業株式会社 空調首都圏事業部

大型新築工事などで空調・衛生設備の設計・積算・管理の仕事をしています。県立大や留学先で学んだ水理学・気象学・熱力学などの知識は、現在の仕事でも大いに役立っています。職場には外国人の方も多数勤務しているため、留学中の体験談が会話のきっかけになることもあります。私にとって留学は大きな挑戦でしたが、その経験は貴重な財産になりました。新しいことに踏み出す時は、勇気が必要。でも、その1歩で学び得た全ての経験は、人生のどこかで必ず活かされるはずです。



留学での学びが
仕事につながりました！

平成27年度 食品科学科 卒業生 高橋 千亜紀さん
留学先 台湾（屏東科技大学など）
期間 約6カ月
就職先 有限会社わくわく手づくりファーム川北

6次産業を行う農業法人で、地ビールのマーケティング業務を担当しています。小さい会社なので、イベントの出店、見積作成、輸出業務、SNS発信、ビールの配達等、担当業務は多岐にわたります。トビタテ!台湾留学した経験は、自分のキャリア設計に大いに役立ちました。留学中のさまざまな経験、留学後のインターンシップ、そこから現在の仕事までが一つにつながったため、留学経験が自分に与えた影響はとても大きかったと思います。



トビタテで感じた
気持ちが仕事の原動力に！

平成28年度 環境科学科 卒業生 長井 貴広さん
留学先 アメリカ合衆国（ワシントン大学）
期間 約3カ月
就職先 新潟県（新発田地域振興局農村整備部）

大学生活4年間で身についた知識を活かし、現在は品質の良い農産物をつくるための農地を整備する仕事、農道や水路を造り農業を盛んにする仕事に携わっています。在学中、トビタテに参加したことで精神的にタフな人間に成長することができたと思います。留学中に強く感じた「何かを成し遂げたい気持ち」「周囲の人々に支えられている感謝の気持ち」「誰かを支えようとする意志」は、現在も仕事をするうえでの大きな原動力になっています。



徹底調査!

研究のヒミツ道具 ～食品科学科編～

私たちの身近にある食品について、さまざまな角度から研究を進めている食品科学科。いつもは白衣を身にまとい、クールな表情で実験しているみなさんの素顔をご紹介します！

D107
食品衛生学
研究室

食品衛生学研究室 西本研究室



美容と健康は、永遠の研究テーマ!?

骨代謝や皮膚機能に関わる食品を見つけ、その成分分析と作用機序の解明を行う西本研究室。なかでも近年特に力を入れて取り組んできたのが、骨粗しょう症を予防・改善する成分を持つツバキ葉の研究です。西本先生は、野々市市と共同でツバキ葉の機能性評価と商品開発に取り組み、日常的にツバキ葉の成分を摂取できるように、商品化を目指しています。



研究の結果、ツバキの葉は骨をつくる効果と骨細胞を壊す作用を抑制する効果の両方を持つことが明らかに。西本先生は、ほうじ茶に馴染みのある石川の県民性を考慮し、葉を焙煎し、お茶に加工しました。



娘さんセレクトのTシャツ
普段は、カジュアルな服装が多い西本先生。お嬢さんがセレクトしたTシャツは先生にそっくり!!



形見の時計
西本先生のお父様の形見。風呂以外ではいつも身につけており、西本先生にとってお守りのような時計です。



ある植物の分析
三角フラスコはある植物をアルコールで抽出しているところ。小瓶はそれぞれ分離精製した物質。

D101
食品管理学
研究室

食品管理学研究室 中口研究室

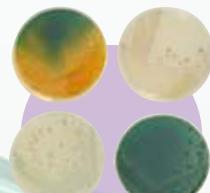


世界を舞台に、あらゆる食中毒菌と闘います！

食品に潜む恐ろしい食中毒菌を対象に、世界各地で研究活動を行っている中口先生。その行き先は、主に発展途上の東南アジア諸国。食のグローバル化に伴って輸入食品を食べる機会が増えた今、世界の食の安全安心は、日本人の食生活にとっても身近な問題になっているのです。中口研究室では、天然の精油の成分に有害微生物の増殖を防ぐ効果を探る研究も行っています。



ハンドサンitizer
現地のスーパーで購入したハンドサンitizer。東南アジアでは意識高い系の人方が使っている物とか。



食中毒菌
何とも美しいグラデーション。しかし、中身は私たちの命を脅かす危険な食中毒菌…。



精油
精油の成分が菌の増殖を防ぐかどうかを分析中。新たな天然の抗菌剤が生まれる日も近いかも？

D111
食品分析学
研究室

食品分析学研究室 関口研究室



薬の効き目に影響を与える物質をリサーチ！

アルコールと多くの医薬品、グレープフルーツとカルシウム拮抗薬など、食品と医薬品の相互作用が働いて、相性が良くないとされる組み合わせ。その原因の多くは薬物代謝酵素の働きによるものです。ハーブの一種であるセイヨウオトギリソウは、特定の薬の効き目を弱めてしまう代表例。関口先生は、身近な食べ物から同様の性質を持つ物質を探し出す研究を進めています。

旅行、ショッピング、甘いもの、スポーツetc...
好きなものを全力で楽しんでます。

休日は金沢駅周辺や片町をぶらついています。甘いもの好きで、美味しいケーキ屋さんを探してよく食べに行きます。他にも旅行やショッピングやスポーツも好きなので、貯金がたまってもすぐに使いがち(汗)。キャンパス内のオススメは図書館。数多くの文献があり、パソコンも置いてあるので、レポートの作成がはかどります。



生産科学科3年
沖山 悠太郎 さん
富山県立水橋高校出身

楽しい友達と良い先生に恵まれて
キャンパスライフを満喫しています。

休日のは、午前中は部活かバイト、午後は街に出かけたり、課題をしたり、ゴロゴロしたり。友達と遊ぶ時には、映画やご飯に行ったあと、温泉でリラックスして楽しんでいます。県立大学は生徒の人数が少ない分、先生が進路や研究について親身になって教えてくれます。売店のおばちゃんもとても親しみやすくて癒されます。



環境科学科2年
挾 茜優 さん
新潟県立燕中等教育学校出身

ウチらの先生 紹介します。

勝見先生は、石川県立大学の第1期生ということもあり、とても気さくです。酒どころの新潟出身らしく日本酒が大好きで、お酒が入るとテンションが上がってより一層面白く…。朝は早くから大学に来ていて、帰りは遅くまで研究室にいて、研究も教育もとても熱心な先生です。

土壤コレクション(能登採取)

＼“地味”って言わないで～／ 知られざる土の世界へようこそ。

土のイメージって、どうしても「汚い」とか「地味」とか、ちょっとネガティブな感じですよね。でも、土は作物を育てるうえで欠かすことのできない資源。土にはさまざまな種類があり、その成り立ちもさまざまです。今、私たちが目にしている土は、数千年から數十万年の歳月をかけてできたもの。土を調査・研究していると、古代の人間の営みまで見てくるから不思議です。私が好きなのは、黒ボク土という真っ黒な土。その黒さの要因の一つとして考えられるのが、過去に人間がススキ野原を維持するために火入れを行い、その時に発生した炭や熱によって黒くなったという説。土は、地球や人間の生活の歴史を物語る証人でもあるのです。農業利用という観点で見れば、土壤環境をコントロールすることでより付加価値の高い農作物を生産することも夢ではありません。この研究室では、地味に見えて実に奥が深い土の魅力を科学的に解明し、応用する研究を行っています。

環境科学科
土壤環境学研究室
勝見 尚也 講師

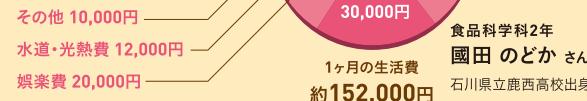


黒ボク土の黒さが
カッコイイん
だよぉ～。

県立大生の生態

趣味にも勉強にもしっかり取り組む
充実した毎日です。

休みの日は趣味の映画鑑賞やお出かけを楽しむだけじゃなく、予習もしっかり終わらせて授業に備えています。県立大学は少人数制で先生方との距離が近く、困ったことがあればすぐに頼ることができます。授業でわからないところがあるあっても先生に気軽に質問しやすく、丁寧に説明をしてもらえるので、理解しやすいです。



食品科学科2年
國田 のどか さん
石川県立鹿西高校出身

バイトも、趣味も、勉強も。
自由気ままに楽しんでます。

休日は自宅の農作業の手伝いや、知り合いの農家さんのところで農業バイトをします。自転車でふらりと出かけたり、趣味の太鼓を叩くなど、自由気ままに楽しんでます。県立大学は人数が少ない分、周りの人との距離が近く、悩み事などを相談しやすいです。また、キャンパスがある野々市市は美味しいお店が多いと思います。



生産科学科3年
宮前 光樹 さん
石川県立金沢西高校出身



ほくら

わたしら

OB・OGの 現在地

ココでがんばっとるわいね!



在学中に得た知識はもちろん、人脈も貴重な財産です。

環境科学科 卒業生（学士：平成24年度、修士：平成26年度）
石川県庁 生活環境部 温暖化・里山対策室
永田 陽介 さん

県庁の林学区分で採用され、現在は、生活環境部で、里山保全団体の支援や里山保全活動への多様な主体の参画促進、里山保全や生物多様性の重要性を知ってもらうためのイベント展示、植樹活動などの普及啓発業務を行っています。在学中は、イノシシ被害対策の研究をしており、その知識や成果を石川県の里山保全に活かしたいと思い入庁しました。当時受講した環境関連の講義や、研究発表は、普及啓発を行う際に非常に役立っています。また、研究でお世話になった団体や先生方、行政職員などは、現在でも協力を頂いたり交流があつたりと、人脈づくりの大切さを実感しています。

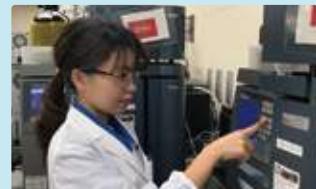


学んだ知識が自分の力となり、現場でフル活用しています。

平成29年度 食品科学科 卒業生
参天製薬株式会社
山瀬 理恵 さん



品質管理チームの一員として点眼液有効成分の定量試験を行っています。能登工場では参天製薬の約8割の点眼液を製造しており、品質の適切な評価に加え、試験の効率性も求められます。また、非定型的な業務として新製品導入時にはバリデーション業務を行ったりもします。（バリデーション：科学的検証と文書化の業務）食品分析学では高速液体クロマトグラフィーの原理、解析方法など学ぶことが出来ましたが、その知識をフル活用しています。大学院時代では研究を通して自分で切り開く力を学びました。現在は先輩社員から教えて頂く日々ですが、そういった能力も今後活用したいと思っております。



共に学ぶ。新任教員の紹介

規則正しい生活をして心身ともに健やかな学生生活を送り、しっかり勉強して下さい。

生物資源工学研究所 環境生物工学研究室
河井 重幸 教授

出身地 京都府	趣味 (温泉)旅行、歴史、読書
尊敬する人物 高杉晋作	最近はまっていること 観能

微生物の力を活用した
海洋バイオマス(海藻)の有効利用研究
島国日本(そして石川県)では海洋バイオマス(海藻)の入手、養殖が容易です。私は特に微生物の力を活用して、海藻に特有の糖質をより価値の高い化合物に変換する研究を進めています。これを目指して本学では、(1)砂浜に生息し海藻を食べるハマトビムシ(能登半島で採取します)の腸内菌叢に学ぶ研究、および(2)油脂蓄積酵母のゲノム編集による代謝改変研究に着手しています。

遠慮せず積極的に色々なことに
チャレンジしてみてください!!

食品科学科 食品分析学研究室
関口 光広 講師

出身地 東京都	趣味 ドライブ	最近はまっていること 北陸めぐり
------------	------------	---------------------

食品と医薬品の相互作用に関する研究
体内に取り込まれた物質(食品、医薬品、環境物質)が体内で代謝される過程でお互いにどのように影響しあっているのかを調べ、食品や医薬品の適切な摂取方法について提案していきます。

未利用資源の有効活用に関する研究
有効利用されていない食品関連の未利用素材を分析し、機能性を見出すことによってその活用法を提案していきます。

この広報誌には
裏面もございます。

右記のようにすべて
広げたのち裏返して
ご覧ください。



石川県公立大学法人
石川県立大学
Ishikawa Prefectural University



石川県立大学広報委員会 〒921-8836 石川県野々市市末松1丁目308番地
Tel:076-227-7220 Fax:076-227-7410 E-mail:jimu@ishikawa-pu.ac.jp
最新情報はホームページから <http://www.ishikawa-pu.ac.jp/>

石川県立大学で確実に未来をつかもう!!

出願期間 1/28(月)～2/6(水)【必着】

※入学試験センター試験の利用科目等、詳細は必ず「平成31年度学生募集要項」でご確認ください。

試験期日 前期日程 2/25(月) 後期日程 3/12(火)

個別学力検査 理科【物理基礎・物理】、【化学基礎・化学】、【生物基礎・生物】の3科目から1科目

募集人員	生物資源環境学部	生産科学科	前期 20名	後期 12名
		環境科学科	前期 20名	後期 12名
		食品科学科	前期 20名	後期 12名

石川県立大学は2019年度から
コース制を導入します。

1学部 3学科 7コース

より深く学び、即戦力となる専門性を身につける。

石川県立大学では、地域産業・社会を取り巻く環境の変化に対応した教育環境を提供するため、カリキュラムの見直しを行い、2019年度からコース制を導入することといたしました。希望する進路に合ったコースを選択することで、必要な知識を体系的かつ効果的に学ぶことができるようになります。

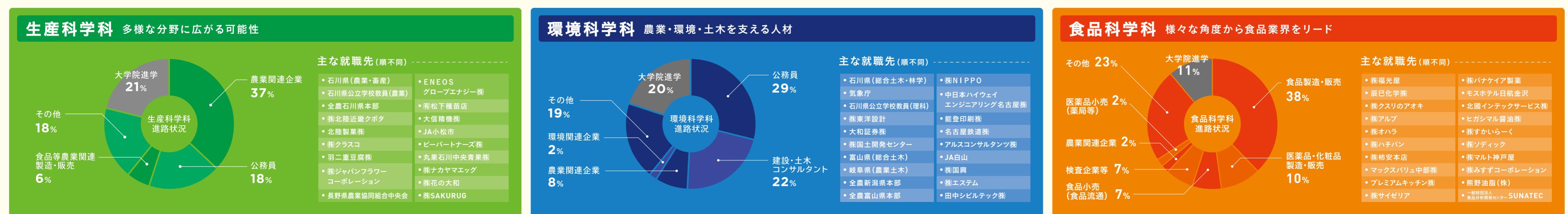
入学試験は、これまでおり学科ごとに行います。2年時に、希望するコースの確認(予備選択)を行い、基礎的な専門科目を学びます。3年進級時にコースを決定します。

※各コースの希望者数等の状況によって希望の再確認、調整をさせていただく場合があります。



※先端バイオコースの内容は環境科学科および食品科学科からも学科ごとにアレンジされた内容で履修が可能です。 ※6次産業化コースの内容は生産科学科からもアレンジされた内容で履修が可能です。

卒業後の進路 コース制の学びで、希望進路に必要な知識や技術が体系的かつ効果的に身につきます! 下記の進路状況は平成29年度のものです。



ISPU TOPICS 1 広報誌の新名称が「ISPU」に決定!!

7月30日から8月2にかけて行われた投票の結果、生産科学科卒業生の飛鳥井さんが考案した「ISPU」が広報誌の新名称として選ばれました。新名称はすでに商標登録も済ませ、発案者の飛鳥井さんには感謝状と粗品が進呈されました。投票結果は下記の通りです。

投票結果	総投票数:342票
ISPU	195票 ISはISHIKAWA、PはPrefectural、UはUniversity (57.0%)
IKD	107票 Iは石川、Kは県立、Dは大学 (31.3%)
iPUV	40票 IPUは從来どおり、Vはユニバーシティから (11.7%)

感謝状は西村先生の力作です! →

ISPU TOPICS 2 2021年度以降の入学試験の方法が変わります

本学では、「一般選抜」と「学校推薦型選抜」を実施してすべての入試区分において 学力の3要素 を多面的・総合的に評価します。※調査書等の活用方法の詳細は現在検討中のため決定次第、公表する予定です。

一般選抜[前期・後期] (旧:一般入試) 現行の教科・科目および日程の変更はありません。

①大学入学共通テスト
【マークシート式問題と記述式問題の併用】
・国語:記述式問題の点数は段階別成績表示の結果を点数化し、マークシート式の得点に加点します。
・数学I:数学A:從来のマークシート式と同様の取り扱いとします。
【英語認定試験と大学入学共通テスト「外国语」の併用】
・大学入学共通テスト「外国语」はリスニングも対象とします。
・英語認定試験(大学入試センターが認定した全ての試験を対象)の結果は点数化し大学入学共通テストの外国语に加点して活用します。
※活用の方法は「学生募集要項」で公表予定です。

②個別試験
試験科目:理科・英語
本学が定めるアドミッション・ポリシーに基づき、学力の3要素に基づき「思考力・判断力・表現力」を評価する記述式の問題を重視して出題します。
※評価項目や活用方法等の詳細は「学生募集要項」で公表予定です。

学校推薦型選抜 (旧:推薦入試)
現行の教科・科目および日程の変更はありません。
本学が定めるアドミッション・ポリシーに基づき、学力の3要素に基づき「思考力・判断力・表現力」を評価する記述式の問題を重視して出題します。
※評価項目や活用方法等の詳細は「学生募集要項」で公表予定です。

今後の検討状況によっては変更する場合があります。
その際には本学ホームページ等でお知らせします。

ISPU TOPICS 3 前期日程のみ名古屋会場を設置します

名古屋会場で受験を希望される方は出願時に選択できます。

